

【日常を大切にした多文化のとりくみ】

大阪府八尾市 高美南小・高美中校区を中心とした 「多文化の居場所」づくりがスタートします



NPO法人トッカビ（大阪府八尾市）は、安中地域の公営住宅（団地）を中心に、日本人住民と外国にルーツをもつ住民が、安心してつながることのできる「多文化の居場所」づくりを開始しました。

本事業は、国の制度である休眠預金等活用制度を活用した助成事業として実施しており、2025年度から3年間をかけて、地域に根ざした多文化共生の基盤づくりに取り組んでいきます。

■ 事業の背景

安中地域の団地では、高齢化が進む一方で、外国にルーツをもつ子育て世帯の入居も増えています。日常生活の中で大きなトラブルは多くありませんが、これまでのヒアリングから、次のような声が聞かれました。

- 言葉の違いにより、行政や団地からの情報が十分に届きにくい
- ごみ出しや生活ルールについて、互いに戸惑いが生じることがある
- 困ったときに、どこに相談すればよいかわからず不安を感じる

こうした状況を受けて本事業では、「問題が起きてから対応する」のではなく、日頃

から顔の見える関係を少しづつ育てていくことを大切にした居場所づくりを目指しています。

■ 事業の概要

事業名（仮称）：YORIDOKORO

※現在は準備段階の仮称です。今後、居場所に関わる人や利用者の皆さんとともに、正式な名称としての位置づけや呼び方も含めて考えていく予定です。

対象地域：高美南小学校区、高美中学校区、その周辺

実施主体：NPO 法人トッカビ

事業期間：2025 年度～2027 年度（3 年間）

■ これまでの取り組み

2025 年夏から冬にかけて、次のような準備を進めてきました。

- ・ 団地に暮らす外国にルーツをもつ住民、日本人住民へのヒアリング
- ・ 小中学校、地域福祉委員会、関係団体への事前ヒアリング
- ・ 2025 年 10 月 29 日「施設をイメージするワークショップ」の開催
- ・ 2025 年 12 月 11 日 近畿大学で建築やコミュニティを研究する学生に、居場所のイメージイラスト制作を依頼

ワークショップや学生との協働を通して、「どんな場所なら来やすいか」「どんな雰囲気が安心につながるか」といった点を具体的に可視化しながら、今後の居場所づくりに反映していく準備を進めています。

■ 今後の予定（予定）

2025 年 12 月

事業概要リーフレット「YORIDOKORO_開設準備 NO1」の地域配布開始

2026 年 1 月または 2 月

YORIDOKORO プレイイベントに向けて、地域関係者も含めたミーティングを開催

2026 年 3 月 14 日（土）

YORIDOKORO プレイイベント開催（予定）

2026年以降

居場所の本格開設（段階的にスタート）

お茶会などの小さな交流の場、畠作り、相談につながるきっかけづくり、防災をテーマにした取り組みなどを予定しています。

※最初から完成した施設やプログラムを目指すのではなく、小さく始め、地域の声を反映しながら育てていくことを大切にしています。

■ 地域の皆さんへ

この居場所は、「何かをしなければならない場所」ではありません。

立ち寄るだけ、話を聞くだけ、見守るだけでも大丈夫です。外国にルーツをもつ人も、日本人の人も、

「ここなら少し安心できる」

そう感じられる場所を、地域の皆さんと一緒につくりていければと考えています

■ 写真・資料について（補足）

本事業に関する写真として、以下の資料を提供可能です。

- ワークショップの様子（個人が特定されない引き写真）
- 居場所開設予定施設の外観写真（位置や個人が特定されない範囲）
- 掲載・取材のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

■ 団体概要・問い合わせ先

NPO 法人トッカビ

(所在地) 大阪府八尾市南本町 7-6-23

(電話番号) 072-993-7860

(メールアドレス) office@tokkabi.org

(Web サイト URL) <https://tokkabi.org/tabunka-ibasyo/>